

# わがまちあらがると

各まちづくり交流室管内の  
情報をお届けします

## 清水 まちづくり交流室

### 「清水地域市民のつどい」開催

～地域公民館の活動～

11月6日、清水総合出張所（清水公民館）で、清水地域公民館連絡協議会主催の「第28回清水地域市民のつどい」が開催されました。

清水地域（清水・城北・高平台・麻生田の4校区）には、校区公民館や町内公民館などの地域公民館が、合わせて21館あります。

地域公民館は、地域社会における住民の自主的活動の推進と生涯学習の振興を図るため、地域の連帯意識・福祉の向上と、まちづくりに寄与することを目的として設置されています。

その活動は、伝統的行事やレクリエーションなどを通じての住民交流、健康づくりや文化に親しみ、学習を通じて教養を高める生涯学習、防犯・防災・福祉・環境美化など、様々な地域課題について話し合う

住民自治拠点といった地域活動の場となっています。

「市民のつどい」は、こういった地域公民館の活動の成果を生かし、地域の人々のふれあいを旨として毎年開催されています。地震の影響もあり、開催そのもの



を急ぐ声もありましたが、例年の日程、土日2日間のところ、今回は1日に凝縮された開催となり、フラダンス、レクダンス、日舞、詩吟やカラオケと

いったステージ発表、講座作品や公民館活動報告の展示などがあり、最後には抽選会も行われ大いに盛り上がりしました。合わせて北区農産物館市、水の飲み比べコーナー、鍼灸マッサージ体験コーナー、似顔絵コーナーなどの催しもあり、こちらも盛況でした。

地域の人々のふれあいを感ぜられる「市民のつどい」は、地域公民館の存在や活動の意義を再認識する良い機会にもなりました。



## 北部 まちづくり交流室

### 川上校区地域防災検討会を開催

～地域のこれからのことを考える～

川上校区自治協議会では、平成28年熊本地震を振り返り、今後の地域防災について考えていく検討会を3回に分けて実施しています。

第1回目は10月18日（火）19:00から川上地域コミュニティセンターホールにおいて「熊本地震を振り返り、震災時での活動を通じて感じたこと」をテーマとし、地震発生時の活動状況について振り返り、今後の課題等について自由に意見を出し合いました。

今後検討を要する主な課題として、「情報発信と情報共有の仕組みづくり」、「避難支援の体制づくり」、「定期的な避難訓練」、「スムーズな避難所運営」といった意見が出されました。1時間30分ほどの話し合いでしたが、皆さん熱心に参加され、とても活発な検討会となりました。

第2回目は12月7日（水）19:00から北部公民館大会議室において「熊本地震を振り返り、他校区の事例から学ぶ」をテーマとし、鈴木之夫氏（帯山西校区社会福祉協議会長・帯山西校区第4町内自治会長）と太田恵美子氏（本荘地域コミュニティセンター運営委員長・本荘校区第11町内自治会長）の2人をお招きして、震災当時の対応状況を紹介していただきました。

事例紹介の中で印象的だったことは、震災直後の対応について、分厚い避難所運営マニュアルがあったが実際には役に立たなかったこと、避難所運営を次第に避難者自身による運営に変えていく仕組みを作ったことなどでした。

そして、今後の対応として、いざと言う時に使用できる井戸をハザードマップに掲載することや、普段から支援物資が届くまでの2日分程度の水・食糧を準備しておくこと、地域役員以外で支援を依頼できる人材登録の必要性など、とても参考となるご意見をいただきました。皆さんなかなか聞けない他校区の事例や自治会長との直接対話などとても貴重な話を聞くことができました。

第3回目は2月に開催し、川上校区のこれまでの地域防災のあり方を見直し、今後災害がいつ発生しても円滑に避難や避難所運営等ができる体制づくり等を構築していく予定です。

以上のように、今後も地域担当職員が地域のことに考える場づくりを設けて、少しでも地域のお役に立つよう取り組んでまいります。



第1回10月18日（火）  
川上地域コミュニティ  
センターホール



第2回12月7日（水）  
北部公民館大会議室



## まちづくり交流室

## 龍田

### 龍田西校区 誕生から一年を迎えて

龍田西校区は、この春誕生から1年目を迎えました。

龍田西小学校は、平成28年4月1日、過規模校だった龍田小学校から分離し、熊本市の95番目の小学校として開校しました。これに伴い、龍田西校区には4つの町内自治会と校区自治協議会も設立され、新たなまちづくりを担うことになりました。

開校には、龍田小学校分離新設校期成会を中心とした地域住民の思いと協力が大きな力となりました。期成会には「児童の学習環境の改善」と「学校の適正規模化」を目指して平成23年6月に結成されました。期成会には龍田校区及びそこから再編された龍田西校区の自治会長をはじめ、多くの地域の方々が参加され、校章や校歌の作成に携わり、市や国へ住民の声を届け、学校の早期建設や通学路となる北バイパスの歩道橋の設置などに力を注ぎ、また、寄付を募り体育館の整備をはじめとする数々の記念品を寄贈し、昨年10月末で解散となりました。

平成28年10月16日（日）、5月に予定されていましたが熊本地震の影響で延期されていた開校式が龍田西小学校の体育館で開催されました。約570人の児童の大合唱を耳にして、新しい校舎・校章・校歌など、ピカピカの環境のなかで、子どもたちは開校130年の龍田小学校の伝統を引き継ぎながら新しい伝統を築いていくのに十分な力を持っていることを確信しました。

また、龍田西校区自治協議会では毎月会議を開催し、初年度の事業を成功させるため細かな打合せを行ってきました。龍田校区との共同開催の事業もありますが、龍田西の特色付けを行っている努力の様子が伝わってきて、今後のまちづくりが楽しみです。



## まちづくり交流室

## 植木

### 山本校区に「やまもと女性の会」が 設立されました ～まちづくりに果たす 女性の役割～



山本校区は子どもの数が減り、高齢者の数が増えてきています。以前は婦人会があり、台風の被害や、火災により被害があったときに対応されていましたが、10数年前に解散しました。そのような中、山本校区在住の岩下摩代さんが「女性でも何か役に立つ事があれば」と思っておられたところ、山本校区自治協議会 会長から「やまもと女性の会」結成の話があり、自治協議会から後押しを受け昨年の6月に結成されました。

岩下代表は「新たに組織を立ち上げることは容易ではなく、まずは校区の皆さんに目的・内容を伝えることでした。役員・運営委員さんから、一人ひとりに声をかけていただき、賛同してくださる方を地道に増やすことしかありませんでした」

「設立前と後では皆さんの考え方が変わってこれ、目的・内容が分かった。見えてきたので応援するよという声をかけてもらい、内心ホッとしました。ありがとうございます」と語られました。

こうした努力の結果、昨年11月に開催された発足記念パーティには多くの参加がありました。現自治協議会会長は「安心安全なまちづくりに女性の力は欠かせません。現代的な暮らし方と、昔ながらの知恵を継ぎ交ぜ、地域の問題や、災害時の対応のお手伝いを通して山本校区全体のまちづくりへの新たな原動力となることを期待します」とエールを送られました。

今後、やまもと女性の会としては「山本地域の各種交流事業」「健康増進に関すること」「講演会・座談会などの開催」などを軸にしながら、明るく住みよいまちづくりを目標に、会員さん方の要望を聞きながら、いつも楽しく美しく！をスローガンに取り組んでいきたいとのことです。そのためには、女性の会の今後の運営、発展（会員増強や活動助成）に対する協力と支援を強く呼びかけておられました。

